

ノーマライゼーション・エリア推進事業

取り組みの概要

障害のある人もない人も、子どもや高齢者まで、すべての人がともに生きることのできる社会を実現するため、市内の4つのエリアをノーマライゼーション推進地区に指定し、それぞれの地区が独自にPR用立て看板やのぼりの設置、啓発用チラシやパンフレットの作成、地域のまつりやふれあい交流事業などにより、ノーマライゼーションの理念の地域定着を図っています。

協働の きっかけ

障害や障害のある人についての正しい理解を深めるため、市民の意識啓発や交流会を拡大し、ノーマライゼーション理念の定着を図り、「人にやさしいまち」「人がやさしいまち」の実現を目指します。

障害福祉課



大正、大空・南の森、東部、西帯広
各地域のノーマライゼーション推進協議会

障害者理解の促進に関する啓発、市民周知

強み

ノーマライゼーション理念の定着

・推進事業地域への補助、4地域意見交換会の実施

役割

・地域主体の理念の普及・啓発、交流事業の展開

協働の 成果

ノーマライゼーション推進事業地区それぞれの創意工夫による意識啓発や交流機会の拡大が、長期に継続されていることにより、ノーマライゼーション理念が地域住民に浸透されています。

協働のポイント

ノーマライゼーションの理念が、徐々に市内全域に波及され、ひとにやさしい、ひとがやさしいまちづくりの意識の高揚が図られるよう、事業を推進していきます

- ★地域住民 ⇒ 事業への参画
- ★推進協議会 ⇒ 地域主体の理念の普及・啓発、交流事業の展開
 - 主な事業
 - ・啓発用立て看板の設置
 - ・推進地区PR用のぼりの設置
 - ・理念の普及啓発、チラシ・パンフレットの作成
 - ・まつり等ふれあい交流事業の実施
- ★行政 ⇒ 推進事業地域への補助、4地域意見交換会の実施

